

パン、菓子製造業におけるはさまれ巻き込まれ災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	15~16	第6工場6階バルクラインで、ラインの整備作業中、ライン上に流れている製品容器の蓋を取ろうと手で製品を追いかけたところ、フレームと蓋に手を挟まれて左腕を骨折した。	34	500~999
1	8~9	B棟焼き工程にて生産終了後にコンベア清掃を行っている時にチェーンカバーの上にあったせんべいカスを発見。手で取り除こうとした際に右手人差し指がチェーンに巻き込まれスプロケットとチェーンの間に挟まれ負傷した。	45	300~499
1	0~1	リバースシーターの清掃を行う時、設備を動かしながら行ってしまい、ローラーに右手を巻き込まれ、右前腕左側を挫傷した。	64	100~299
1	6~7	自社店舗内でパン生地を伸ばしているとき、生地が機械に付いたので取ろうとしていたとき、右手が機械内に入ってしまった。	56	1~9
2	14~15	菓子製造ライン。プリン充填箇所のカップ移送ベルトを清掃する時は、ベルトを停止して行うことになっている。事故発生時はベルトを止めるべき社員がこれを怠り、また被災者もたまたまベルトの汚れを発見したことから、思わず右手の布巾で拭き取ろうとした拍子に左手をベルトの外枠（ガイド）に乗せてしまい、カップホルダーとベルトの外枠（ガイド）の間に指を挟まれてしまった。	54	500~999
2	15~16	当社工場内にて、被災者がパンの生地を練る横型ミキサーを清掃作業中に本来は機械を止めて清掃しなければならないと指導されているが、復帰ボタンを押し、機械の開閉部分が閉まってくる間に機械の奥を右手で拭き上げをしていた際に、閉じてくる機械に間に合わず、頭が挟まり左耳の前部分を負傷、また閉じてくる機械を左手で強く押さえたため、左手中指第1関節付近を切傷したものである。	69	1~9

2	15~16	包装室で生産時、原料排出の際、原料袋搬送用チェーンとスプロケットの間に右手親指の先を挟む事故が発生した。	24	30~ 49
2	6~7	食パンラインで作業中、パンの生地の状態が荒れていたため、ストレッチャー（機械）のカバーをあげ、バーに絡まっている生地を取り除こうとした際に、カバーを上へ上げようとした際に上にある操作盤（左右に回転する）に当たりその弾みでカバーを持っていた右手が外れ、カバーが落下した。咄嗟に左手を引いたが間に合わず、カバーの側面の一部に挟まれ、左手小指の爪の付根より切断した。	24	500 ~ 999
2	10~11	工場内にてパンの生地を平らに伸ばすための機械（モルダー）を操作中、生地が詰まったため手で押し込もうとした際、機械が動き出し、右手が巻き込まれた。	24	100 ~ 299
2	15~16	工場でおびとりマシーンを動かしている時、カッターで手を挟んだ。右手薬指骨折。	23	—
2	15~16	20kgの洗剤を保管庫上段より持ち出そうとしたところ、重さに耐え切れず、落としかけ、棚と洗剤の間に人差し指を挟み、末節骨不全骨折を起こした。	51	50~ 99
2	4~5	ウエスを手に巻き付けて、清掃モード用スロー回転で、アタッチチェーンを清掃中、ウエスがチェーンに引っ掛かりチェーンとスプロケットの間に指を巻き込まれた。	42	50~ 99
2	8~9	入社後制服に着替え、エアシャワー室に入りドアを閉めようとしたところ急いでいたため、勢い余って自分の右手中指で挟んでしまい、打撲し負傷したものである。	31	100 ~ 299
3	7~8	C生産仕込室にて、アイテム切替時にベルトを停止し清掃作業を実施した。清掃終了後の稼働時に生地残渣を発見し除去しようと手を入れてしまい、ガイドに手を巻き込まれた。	30	100 ~ 299
3	16~17	ハンド異常でロボットが停止した際、パレタイズ室に入り生地確認の為、番重を覗き込んだ際、アームと生地番重の間に首を挟まれて負傷した。	20	100 ~ 299

3	18~19	工場1F製造場において、パックシーラー3連機を製造終了後、機械のフィルムローラー下部を洗浄しようとした時、レーンが稼働しており危険であると認識して機械を停止したが、左手をレーンに置いた状態で停止ボタンを操作したため、その間に左手がフィルムローラーまで流れ挟み込んでしまった。	24	100 ~ 299
3	13~14	食パンラインブレッドクーラー内にて、ローラートレーはみ出し異常が頻発したため、センサーを確認するためにフレームに足を掛けよじ登る。その際にプッシュャートレーレール部分に左手を掛けている事に気が付かず、プッシャーの動作時に指がプッシャーローラーとレールの部分に左手中指薬指がはさまれた。	61	500 ~ 999
3	9~10	工場内包餡機の調子が悪いという報告を受け、確認すると包餡後の商品に傷が見られたため、機械を一旦停止し調整を行った。調整後、パート職員に調整後問題なく動作していることを動作確認しながら調整箇所を指差して説明していたところ、誤って上下動作をしているリングと調整箇所の間指が挟まれ負傷した。	29	100 ~ 299
3	10~11	生産が終了し、バケットホルダーの清掃時にカバーを外し清掃を行っていましたが、ローラーを起動させながらスケッパーにて生地、カス等を取り除く清掃作業を行っていたとき、手からスケッパーが滑り落ちてバランスを崩し、ローラーに手指を挟まれ巻き込まれた。	20	500 ~ 999
3	16~17	2Fライン蒸し物搬送ベルトの掃除中に、電源を切らないままモーターの裏部分を掃除中に右腕をベルトに挟まれた。	19	100 ~ 299
3	15~16	2Fのパイ室で、リバースシート作業終了後の清掃準備中、誤ってローラーを動かすスイッチ（フットペダル）を自分で踏んでしまい、ローラーが動き出して右手が圧延部分（厚み約2mm）に挟まれた。	47	100 ~ 299
3	16~17	工場で製造後、ロースター金属探知機のシートをラインを動かしたまま拭き掃除をしていたとき、機械の端でシートを挟むように押さえながら行っていたため、ウエスが先に機械に巻き込まれ、右手人差し指が機械に巻き込まれた。	53	50~ 99
4	15~ 16	工房内で、アームミキサー（生地を作る機械）を使用して饅頭生地を作っている際に、小麦粉を投入した後に小麦粉が容器からこぼれ落ちるのを防ごうとして、左手をアームミキサーの中央に入れてしまったため、交差する左右のアームに左	27	100 ~

		手のひらを挟まれ負傷した。		299
4	15～ 16	1階仕込室で蒸練機の洗浄中、羽を手動で逆時計回りに動かした。その際に洗剤で手が滑り、右手小指を練出口と羽の間に挟み、右手小指を裂傷および骨折した。	61	100～ 299
4	12～ 13	事業所内にある、あんころ餅を製造する工場内で、包あん機を作動させた時に出始めのあんが乾いているのを発見し、機械を停止させるボタンを押して機械を停止させたつもりが作動ボタンを押し、機械の停止を確認せずに右手を入れてしまい、機械に挟んだ。	50	10～ 29
4	9～ 10	工場内の通路で餡の入った板重をカゴ車からキャスターに積みかえた時、一番下の板重がキャスターにはまっておらず、それを直そうとしてキャスターと板重の間に左手の指を挟んだ。	18	50～ 99
4	23～ 24	ベルトの設定をしている時に、ストッパーで止めて設定していたがよそ見をしてしまい、コンベアが下りてきて指を挟んでしまった。	53	500～ 999
4	8～9	2段台車に資材（18ケース180kg）をのせ、スロープを引っ張り搬送していたところ、荷崩れを起こし転倒した。その際、傾いた台車に挟まれ右足の踝を骨折し、腰を床面で強打した。	67	500～ 999
4	14～ 15	本社工場内で餅に味付をする機械を動かしながら洗浄作業中、機械内部の棧の上におかきの断片が落ちていたので、機械を止めないで右手で掴み取ろうとしたとき、普段洗浄作業中は填めていないゴム手袋を填めていたため、ゴム手袋の先が動いているギアに引き込まれそのまま指先がギアに巻き込まれ指先を負傷した。	58	30～ 49
4	10～ 11	事業所内で、ごはんの梱包作業中、機械の一部にごはんがつき、それを取り除こうとしたところ、次に流れてきた製品と機械の間に右手薬指を挟んでしまった。	51	10～ 29
4	15～ 16	マンツーマンで新人作業者に包装機のセットの仕方を指導中、一人でセットが出来たがエンドシール部の包材が詰まっていることに気づき、被災者は包装機内側から左手を伸ばし詰まりを直していた。その時、新人作業者はトジマークの調整を行い、指導者（被災者）が包材を手で押さえてくれていると思い製品を感知す	29	50～ 99

		るセンサーに手を当てて動かしてしまった。詰まりを発見した時点で電源を切るか、カバーをはずす（カバーをはずせば電源が切れる）べきだった。		
4	9～ 10	コンベアの修理の為、業者（2名）、社員（3名）で、コンベアを工場外へ移動させていたがコンベアが横に蛇行し、壁の電気スイッチBOXに当たりそうになったので、止めようと手をいれたところ、壁とコンベアに右手を挟まれ、小指を負傷（ヒビ）した。	28	30～ 49
4	10～ 11	第一工場にて飴を成型する作業中、機械に飴がくっついて作業が止まったため、機械からくっついた飴を取り除く際、左手を駆動部分にかけた状態だったため左手人差し指を挟んでしまい切断した。	29	30～ 49
5	3～4	食品製造工場の和菓子仕込室にて、粉付け機の粉交換を実施していたところ、通常通り運転した状態で粉を取り出していたが、被災労働者が粉を早く落そうとして、粉付け機の回転部に右手を入れてしまい、右手が巻き込まれて中指の爪が剥がれた。	42	500 ～ 999
5	15～ 16	段ボールにガムテープをコンベアで貼り付ける作業をしている時に箱がずれてしまったため焦ってしまい手がダンボールとコンベア（ゴム）の間に挟まってしまった。	50	50～ 99
5	9～ 10	ゼリー充填機運転中、ゼリー容器の冷却装置に右手人差し指を挟まれ指先を負傷した。	48	1～9
5	14～ 15	工場のネタ場において、練り機にて生地をつくり、容器から出す作業をしている際にボタン操作を誤り、容器の蓋が開いている状態でミキシング（羽根）部位が起動した為、左手を巻き込まれ負傷した。練り機（紛体混合機）容器30?程。	20	100 ～ 299
5	5～6	箱詰エリア丸生地ラインの作業が終了し、縦ピロースイングコンベア下部の清掃を行っていたところ、他の作業車が縦ピロー包装機を起動した為、各コンベアが動きスイングコンベアも下降する構造になっており、加工する際にブザーが鳴るが、右手を抜くことが遅れたこともあり、スイングコンベアと生地搬送コンベアとの間に右手が挟まれた。	45	300 ～ 499
	15～	製造ラインにて、クッキー投入機を清掃中、よそ見をして樹脂のスライド部穴に		100

5	16	指を挟み、左手人差し指を開放骨折した。	35	～ 299
6	13～ 14	仕込室にてクッキー生地 of 混合中に、2工程前の混合時に、回転式パンチングメタルの小麦粉ふるい機が粉詰まりを起こした為、状況を確認しようとしてスイッチを切り、排出ノズルを取り外し、詰まり具合を確認しようとしてホース内に手を入れたところ、パンチングメタルがまだ回転していて、接触して巻き込まれた。	57	100 ～ 299
6	17～ 18	店舗内厨房において、ドーナツ生地を捏ねている作業時に、ボールに卵を入れるためヘラで卵を払ったところ、ビーターが来てしまいミキサーとビーターに右手甲を挟まれて負傷した。	20	1～9
6	13～ 14	当社倉庫の整理整頓中に、バックして来るリフトに気付かず、リフトの左後輪が右足先に乗り上げ、右足親指、人差し指先の骨にひびが入り、親指の人差し指側を4針縫合した。また、転倒の際に後頭部を負傷した。	50	100 ～ 299
6	10～ 11	老化室に保管しているパンが載ったラックを移動させる際、ラックの外枠を持って移動したため、他のラックに右手小指を挟んだ。	31	100 ～ 299
6	11～ 12	厨房内にて、生地をのばすパイローラーという機械を使用している時に、ローラーとローラーの間（1.5cm）に手を巻き込んで挟み、被災した。	23	1～9
6	14～ 15	工場内でチェリー豆に砂糖を絡める作業中、ヘラでミキサー内壁にこびりついた砂糖を取っている時、軍手の手を入れる口（右手）がミキサーの中心の軸のボルト部分に引っかかり、右手首を巻き込まれ、右手首切創と骨折、及び右手親指の神経断裂をした。	60	10～ 29
6	9～ 10	工場内でプレッシャーミキサー稼働中に、ミキサーの蓋についた生地をヘラで落としていたところ、ヘラをミキサー内へ落としてしまった。ミキサー停止ボタンを押してヘラを取ろうとしたところ、まだ動いていて右親指を負傷した。ミキサー内にはカステラ生地が入っており、停止したかどうか目視では確認できなかった。	21	30～ 49

7	17~18	第三包装室で製品を金属探知機へ流している作業中に、金属探知機のベルトと台座の隙間に右手をベルトに巻き込まれ挟まれてしまった。	24	50~ 99
7	14~15	当社工場内において、包餡機を使用し餅菓子を製造していたところ、ベルトレール部に小さな不良品があったため、除去しようとした際、機械を作動させたまま左手を奥に入れてしまい、包餡機可動部に左手先が当たり、中指先を負傷した。	58	30~ 49
7	16~17	二次包装室で作業台とベルトコンベアを使用し、マフィンを受け取り検品作業中作業台が動き、ベルトコンベアに隙間が生じ、誤って左親指を挟んでしまい骨折した。	35	50~ 99
7	15~16	ビスケットを搬送するベルトコンベアの駆動ローラー部近辺で、布巾を用いてベルトを拭きあげる作業を実施した。ここは、指示している作業箇所ではなく、業者の勘違いによる間違った箇所であった。（プラチェーンと表示にて危険箇所であることを明示していた）作業開始直後、布巾が駆動ローラーに巻き込まれると同時に、右手が駆動ローラーに巻き込まれ受傷した。	50	100~ 299
7	13~14	菓子工場1階にある製品粉碎機の機械上部の安全カバーを取り外し、キッチンペーパーを使って清掃しようとしたところ、機械の電源を切っておらず、ローラーの停止も確認しなかった。キッチンペーパーがローラーに接触し、右手中指、薬指、小指の先端が挟まれ裂傷した。	56	10~ 29
7	12~ 13	店のトイレで靴を履くときにトイレの扉の間に手をついていたため閉じてきた扉に左手小指を挟んで骨折した。	31	10~ 29
7	15~ 16	秋の作業が始まる前日、栗を圧して実を取り出す機械の準備にとりかかり、スイッチを入れて清掃していたとき、誤ってローラーに手を入れてしまい、指が切断された。被災者一人が部屋にいて機械を動かしていたため、他に目撃者もなく、本人もよく覚えていないということで詳しいことは分からないが、ローラーに巻き込まれて指を切断したものである。	45	30~ 49
7	10~ 11	えびせんべい製造工場内で、製造中のせんべいに味付する機械が急に止まってしまったため、ベルトの動きを手で助けつつ、機械の調子を見ていたとき、ベルトに巻き込まれて、右手中指を負傷した。	63	1~9

7	23～ 24	工場の粉置場の清掃を行っていたとき、粉袋を台車に乗せたまま（通常は台車に粉を乗せない状態で行う）清掃を行おうと、台車の天板を持って動かした際、天板と下部のキャスターの間に指が挟まり負傷した。	38	～ 499
9	18～ 19	被災者は、キャラメル製造機のちねり機から包装されたキャラメルを落とす作業中に指が挟まれ受傷した。	25	50～ 99
9	12～ 13	工場内コンベア清掃場所で、コンベアの清掃時、コンベアの電源が入ったまま、煎餅カスを取り除こうとコンベアのすき間に手を入れて、着用していたアームカバーがコンベアに引っぱられた際、左手首を挟まれた。	49	～ 299
9	10～ 11	十勝バタースティック生産中、整形室にてツイスター下部のベルトに付着した生地を取り除こうとした際、軍手をして除去していたところ、除去しきれなかった生地を追いかけてテンションローラーに近づき、テンションローラー上部の隙間に軍手の先が入り、そのまま腕まで巻き込まれたものである。	24	～ 999
9	13～ 14	工場のパイ製造室でパイローラーを清掃中に、機械に清掃用タオルが巻きこまれ、それと一緒に左腕も巻きこまれた。	31	10～ 29
9	1～2	チョコレート包装室において、清掃中にコンベアのカバーを外し、ベルトを稼働させながらコンベア内の治具を清掃中に、駆動チェーンとスプロケットに左手の中指が巻き込まれて、左手第三指先端を負傷したものである。	23	～ 999
9	14～ 15	工場洋菓子3課フィナンシェラインにおいて、焼きあがったドーナツを天板から抜く作業を行っていたところ、天板と抜き台に右手薬指を挟んでしまった。その後、痛みはあったが自然に治ると思い数日仕事を続けたが、腫れがひどくなったため、病院を受診した。	60	～ 9999
9	8～9	上記日時頃、工場内にて饅頭を蒸すのに並べる網（縦63cm横52cm重さ1.6kg）を空の状態70枚ほど重ね（高さ45cm）台車に載せ2人で運ぶ作業中、一人は台車をバックで動かし、被災者は対面して網が崩れないように両端を両手で支えていたが、身体のバランスを崩した時、網が5～6枚崩れてきて無理に抑えようとしたため、横に設置している饅頭スチーマー機と網との間に左手小指側を挟み骨折したものである。	61	10～ 29

9	1~2	工場内で包装機のベルトが機械の不具合でとまってしまった。ベルトを引っ張れば動くと思い、ベルトローラー部付近に手を入れ、他の作業者がスイッチを押して稼働状態にして、ベルトを引っ張るつもりだったが、予想以上にベルトの回転がはやく、ベルトとローラー部に指を挟まれ負傷した。（本来故障しているベルトとは違うベルトをさわっていた。またカバーはついており、開けると機械は止まる構造になっているが、カバーのすき間に手を入れていた。）	36	300 ~ 499
10	1~2	仕込工程で生産終了後の掃除作業に送液ギヤポンプ付きのタンクをお湯洗いしていた。通常通りの回数洗いをし入れお湯を抜いたが、タンク内に残渣が出ており、残渣をタオルで拭き取ろうとした結果、タンク内のギヤポンプにタオルを巻き込んでしまった。巻き込まれたタオルが破損し、ギヤポンプ内にタオルの破損片が残り、慌てて破損片を取り除こうとギヤポンプに手を出してしまい、左手中指の第一関節から上部分を挟まれてしまい、損傷した。	49	100 ~ 299
10	14~ 15	チョコレートの溶解タンクに、原料のチョコレートの粒をボウルに入れながら作業をしていたら、チョコレート溶解タンクの回転バーの上にチョコレートの粒が残っていた為、回転しているバーに左手でマイナスドライバーを持ち、落とそうとしたら、チョコレート溶解タンクのバーと溶解タンクの周囲に左手が巻き込まれてしまった。	65	30~ 49
10	22~ 23	ダクワーズ2号ラインの菓自動投入機の不具合があり、機械の稼働を停止し調整を行った。その後機械停止を解除したところ、別の作業者が調整が終了したと思い、稼働スイッチを押したが、それに気付かず、調整のため機械に指を近づけたところ、挟まれて指を損傷した。	43	100 ~ 299
10	22~ 23	オープン6号出口の搬送コンベアでオープン4号オペレーター中に隣ラインでチェーンのたるみがでっばりに引っ掛かり止まってしまった。そこで、駆動を停止せずに、復旧作業をしようとした為急に歯車が動きだし、右手小指を挟んだ。	38	300 ~ 499
10	6~7	包餡機を使い作業中、包餡した菓子がベルトコンベアーから落ちた為、安全カバー内に手を入れ駆動部に、小指を挟み切ってしまった。	23	50~ 99
10	18~	味付のざらめ掛けの作業で、ざらめが出て来る穴が詰まっていた、直そうとした時に、機械を止めずに穴に指を突っ込んでスクリーに指先を巻き込まれたも	30	300 ~

	19	の。		499
10	7～8	被災者はパン成型ラインにて粉払い・ブラシに付着していた生地を取り除こうとしたところ、ブラシに指を巻き込まれて被災した。	52	1000 ～ 9999
10	14～ 15	生地棟1階乾燥場10号生地乾燥機稼働中に異常音があり、不具合を治そうとテンション調整部分のボルトをスパナで回すため、Vベルトカバーに左手を着いたところ、軍手がVベルトに巻き込まれ、左手を負傷した。	52	100 ～ 299
10	10～ 11	被災当日、本社工場内にあるパイ切断機でシート状のパイ生地を焼き上げるためのカッティング作業を行っていた。カットされたパイ生地を自動で流れてくる天板（55×40センチ）に並べる工程で、生地と1枚目の天板が流れてくるタイミングがずれていたためか、カットされた生地が天板から床に滑り落ちそうになっていた。そのための焦りからか誤って天板搬送用のチェーンに右手小指が入ってしまい、チェーンとギアの間に挟まれた形で負傷した。	21	30～ 49
10	21～ 22	工場内の第二成型室で、器具の洗浄作業時ミキサーボールを専用の台車に乗せて運搬している時、ミキサーボールが台車に正しくセットされておらず、ミキサーボールがずれてバランスを崩し、ミキサーボールと器具殺菌用の容器とで指を挟み、負傷した。	37	100 ～ 299
11	22～ 23	工場内にて味付け工程で切替清掃をしていた際、味付け分配コンベアが蛇行し、ベルトがフレームと接触しそうになった為、ベルトを手で押し戻そうとして親指が駆動ローラーに巻き込まれ受傷した。受傷後、業務を切り上げて病院を受診したが深夜の為翌日になった。	22	100 ～ 299
11	13～ 14	個人宅リフォーム工事現場において軒天外部工事中、下地に木を取り付ける際、左手親指に木のトゲが刺さり負傷したものである。数日後に指が腫れ痛みがあるため病院へ行った。	56	100 ～ 299
11	18～ 19	1階成形室にて、食パンラインのクロスモルダーの定期メンテナンスで、ギア部分に注油を機械を稼働させながら行っていた。右手にオイルポットを持ち、左手でギア部分から垂れる油を受け止める為に軍手をした状態で、ギアの下に差し込	28	100 ～

		んだ際に軍手ごとギアに巻き込まれ、左手中指の第一関節から先と左手人差し指の爪先を切断してしまった。		299
11	14～ 15	工場内1階サンド機で作業中、生地が入ったセイロが正常に重なっていないことに気が付き、直そうとセイロを持とうとした際に、右手人差し指をセイロと台の間に挟んでしまった。右手人差し指を亀裂骨折してしまった。	45	100 ～ 299
11	13～ 14	ガナッシュ（チョコレート）を切断機を使用しカットしている時に、安全ガードを越えて手を出してしまったことにより、切断機に指を切られてしまった。	41	100 ～ 299
11	10～ 11	工場1階でアイスクリーム充填機が動いている時に、注ぎ口付近をダスターで拭き掃除しようとしたら機械に挟まって、人差し指が創傷し骨折した。	44	50～ 99
11	9～ 10	本社工場内において、スライサーでキャベツをスライスする作業中、マニュアルでは野菜がスライサーに挟まっても、スライサーの動作中は取り除いてはいけないことになっていたが、スライサーが動作中にも関わらず、挟まったキャベツを取り除こうとしてしまった。その際スライサーの刃が左手中指に触れてしまい、左手中指の末節骨を開放骨折した。	21	—
11	10～ 11	包装室で個包装作業中に包装機にフィルムが詰まり取り除いた時に、左親指を回転している機械に挟まれ親指を切る。	45	30～ 49
12	9～10	せんべいの製造工場内でバターせんべい焼成器の漏斗状の部分に生地を流し込み、残り少なくなった生地を集めたときに奥まで手が入ってしまい、スクリューに右手首から右尺骨を挟まれた。	44	10～ 29
12	20～21	被災者は、事業所冷凍倉庫内を歩行中、側面から、製品の積まれたパレット（高さ計1,955mm）を移動しようとしたフォークリフトが接触した別のパレットと、壁面に置かれていた鉄製の台車との間に両足を挟まれ、被災した。移動させようとしたパレットが、相互に完全な死角を作り出していた。	47	100 ～ 299
12	2～3	2Fパンニング室仮置庫内で、庫内の整頓中、冷生地の入ったプラコンが積み重ねられている台車がずれていて、台車前方から番重と台車の間に手を入れて引っ張ろうとして、左手中指を挟んだ。	56	300 ～ 499

12	11~12	工房内において、パン生地成形機を掃除中、電源を止めてローラー上部の蓋を外して掃除すべきところを、蓋を外さず、起動している状態で、ゴム手袋をして布巾でローラーを拭いていたところ、布巾がローラーに巻き込まれると同時に手袋も巻き込まれた。指がローラーに挟まったため、直ぐに電源を停止させた。	45	50~ 99
12	16~17	スイーツ工場において、パイ室のパイマシーンを使用し、チーズケーキグラハムクラッカー（ブロック状）の生地を、2つのプレス工程を通してシート状にする作業をしていた。最終工程で、小さい生地を機械へ入れようと投入口に手を入れて巻き込まれた。	60	500 ~ 999
12	14~15	当社作業所で、自動餅つき機で餅つき作業をしていたとき、機械に手水を注入する際、手水計量カップを自動餅つき機の臼の中に落とし、拾おうとして誤って右手を入れたために負傷した。	17	50~ 99
12	11~12	本社工場内で、菓子の製造中、機械に生地を補充する際に誤って手を挟んでしまい、右手を負傷した。	20	50~ 99
12	19~20	本社工場内にて、生産が終わった製造ライン等の清掃のため計量機を移動していた際、計量機のキャスターで右足の小指を踏んでしまい負傷した。	50	100 ~ 299
12	13~14	製造したパンをカットする作業場で、機械でパンをカット中に、本人の不注意により、誤って機械で指を挟み、右手人差し指上部に裂傷を負った。	22	10~ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)